

**「青森県食の安全・安心対策総合指針」の行動計画に関連する  
主要事業の令和5年度取組実績（令和5年11月末現在）**

行動計画の項目 及び担当課	令和5年度取組実績	
	取組名	主な内容
<b>I-2 農薬などの適正使用と管理指導の徹底</b>		
【食の安全・安心推進課】	<b>《青森県農薬危害防止運動》</b> 安全かつ適正な農薬の使用及び保管管理並びに使用時における周辺への配慮の徹底や病害虫防除所の立入検査による農薬の適正販売等、農薬及びその取扱いに関する正しい知識の普及により、農薬による事故等を防止する。	1 6~8月を農薬危害防止運動実施期間として活動(県要領の作成・周知、啓発資料の配布) 2 農薬管理指導士更新研修及び新規認定試験の実施 3 立入検査件数(300店舗)
【農産園芸課】 【りんご果樹課】	<b>《稲作、野菜、畑作物、花き、りんご及び特産果樹の生産振興対策》</b> 消費者が求める安全・安心な農産物の生産を維持するために、農薬の適正使用について周知する。	1 生産情報発行時における注意喚起 ・稲作6回 ・野菜7回 ・畑作7回 ・花き7回 ・りんご14回 ・特産果樹7回 2 りんご等果樹生産技術研修会の開催(3回) 3 りんご黒星病の感染危険日情報の発表(4~6月)
【水産振興課】	<b>《養殖衛生管理体制整備事業》</b> 養殖生産者に対する衛生管理技術・知識の普及及び生産指導、養殖場の調査、防疫対策等を実施する。	水産用医薬品の適正使用の指導 ①魚類等の養殖場(24か所)への巡回指導 ②魚病診断の実施(12件) ③魚類防疫検討会出席(1回)
<b>I-3 環境にやさしい農林水産業の推進</b>		
【食の安全・安心推進課】	<b>《「日本一健康な土づくり運動」推進事業》</b> 「日本一健康な土づくり運動」を推進し、健康な土づくりの取組拡大を図る。	1 「あおもり土づくりの匠」の認定(認定者数81人、うち新規認定者数4人) 2 イベント等での消費者等への情報発信(3回)
	<b>《「土の見える化」が拓く農業生産ステップアップ事業》</b> 農産物の高品質・安定生産と持続可能な農業の推進に向け、土壌の化学性・物理性・生物性の三要素の総合診断により、「土の見える化」に取り組む。	1 「挑戦農場」を核としたエコ農業チャレンジ塾の開催(6回) 2 市町村と連携したエコ農業モデル実証ほ設置(2市町) 3 エコ農産物販売協力店の設置(167店舗) 4 エコ農業を指導できる人財の育成(6名)
	<b>《あおもりエコ農産物生産拡大事業》</b> エコ農産物の生産量拡大及び生産技術向上のため、生産者のエコ農業技術のスキルアップを図る。	1 有機農業研修会に出席(1回) 2 特別栽培農産物認証制度等の運営 特別栽培農産物の認証 3 総合的病害虫・雑草管理(I・P・M)実践指標~りんご~改訂
	<b>《あおもり型稲わら有効利用促進事業》</b> 稲わらの焼却防止と有効利用に向けた啓発指導とマッチングを支援する。さらに、稲わら収集技術体系マニュアルを活用し、新規稲わら収集事業者の掘り起しを行いながら、焼却防止を目指す。	1 稲わら有効利用の促進及び焼却防止対策連絡会議の開催(1回) 2 稲わら販売希望者と買取希望者のマッチング(約3,500t) 3 青森県稲わら流通促進協議会開催(1回:「稲わら・もみ殻」の有効利用に向けた意見交換会の開催に変更) 4 「稲わら収集技術体系マニュアル」を活用した技術指導(2回) 5 稲わら等の有効活用促進に向けた弘前大学との共同研究((3回:各調査結果の情報共有及び打合せの実施) 6 市町村等関係機関と連携した啓発活動(東青、中南、西北地域における広報巡回・チラシ)

行動計画の項目 及び担当課	令和5年度取組実績	
	取組名	主な内容
<b>I-4 生産工程の開示</b>		
【食の安全・安心推進課】	<p>≪「日本一健康な土づくり運動」推進事業≫ 第3期「日本一健康な土づくり」推進プランの実現に向け、GAP取組の拡大・高度化により、本県の農産物の安全・安心な生産体制の持続を図る。</p>	<p>1 農業者に対する支援 ①農業者のためのGAP推進研修会(2回) ②各産地におけるGAP取組拡大に向けた個別指導(各県民局)</p> <p>2 農業高校に対する支援 農業高校が人材育成のために取り組む新規のGAP認証取得や維持・更新のための審査費用等を支援(4校)</p> <p>3 指導者向け研修会の開催(2回)</p>
<b>II-2 自主的な衛生管理・検査体制の構築と実践</b>		
【水産振興課】	<p>≪EU向け輸出ほたて安全対策事業≫ 対EU輸出ホタテガイの養殖場等の衛生要件を確保する。</p>	対EU輸出ホタテガイの生産漁協を対象とした出荷管理に係る研修の実施(1回)
	<p>≪貝類生息環境プランクトン等調査事業≫ 貝類の毒化状況を的確に把握することにより、貝類の毒化による漁業被害の防止に資する。</p>	県漁連、漁協へ自主的な貝毒検査を指導
<b>III-2 正しい知識の習得、安全対策を実施するための支援</b>		
【県民生活文化課】	<p>≪消費者向け研修会の開催≫ 消費者向けに、食品の安全・安心、地産地消、食育を含んだ「かしこい消費」に関する研修会等を開催する。</p>	<p>消費者向けに、食品の安全・安心、地産地消、食育を含んだ「かしこい消費」に関する研修会等を開催 ①消費生活大学講座(1回) ②移動消費生活講座(随時) ③親子で学ぼう! エシカル商品探しゲーム(5回)</p>
<b>III-4 生産者や食品関係事業者との相互理解・信頼</b>		
【県民生活文化課】	<p>≪消費者向け研修会の開催≫ 消費者向けに、食品の安全・安心、地産地消、食育を含んだ「かしこい消費」に関する研修会等を開催する。(再掲)</p>	<p>消費者向けに、食品の安全・安心、地産地消、食育を含んだ「かしこい消費」に関する研修会等を開催 ①消費生活大学講座(1回) ②移動消費生活講座(随時) ③親子で学ぼう! エシカル商品探しゲーム(5回)</p>

行動計画の項目 及び担当課	令和5年度取組実績	
	取組名	主な内容
<b>Ⅲ－5 地産地消の推進</b>		
【総合販売戦略課】	<b>《県民による県産品の利用促進運動の展開》</b> 県民の地産地消の意識の向上に向け、民間事業者と連携した取組を実施する。	1 県民の地産地消の意識醸成と小売店等での県産食材利用拡大に向けた新たな県民運動の 実施 2 青森県産品フェア等の開催(9回) 3 民間主体の青森県産品愛用応援キャンペーンの実施(9～11月)
	<b>《学校給食での地元食材の活用促進》</b> 学校給食での県産食材利用率の更なる向上に向け、需要の大きい加工品等の供給拡大やPR、学校栄養士を対象とした現地セミナーの開催により利用拡大に取り組む。	1 学校給食関係者による冷凍野菜供給拡大に向けた検討会の開催(1回) 2 学校栄養士に対する県産食材や加工品のPRの実施(1回) 3 学校栄養士を対象とした現地セミナーの開催 4 県産食材を使用した調理講習会の開催
	<b>《産地直売施設販売力強化事業》</b> 産地直売施設について、これまで構築してきた集出荷体制を活用するなど、新たな若手生産者が出荷しやすい体制を構築するとともに、POSレジの販売実績の分析結果を活用し、消費者が求める商品を出荷・販売することで、産地直売施設の販売力強化を図る。	1 若手生産者等が産地直売施設に出荷しやすくなる体制の検討・実証(3事例) 2 POSレジデータの分析結果を活用した出荷・販売の実証(6事例)
	<b>《「だし活」による減塩ムーブメント創出事業》</b> 「健康寿命の延伸」及び「地産地消の推進」の両輪で、調味料メーカーとの連携による減塩総菜の開発促進、効果的なだし活・だす活の普及啓発、子どもの頃からの食習慣づくりに取り組み、「だし活」の加速化を図る。	1 企業による「だし活」商品の開発促進(4社11商品) 2 だし活10周年記念イベントの実施(青森市(1回)) 3 食生活改善推進員連絡協議会によるだし活伝道活動(38市町村93回) 4 だし活協議会によるだし活推進活動(4回)
	<b>《消費者向け研修会の開催》</b> 消費者向けに、食品の安全・安心、地産地消、食育を含んだ「かしこい消費」に関する研修会等を開催する。(再掲)	消費者向けに、食品の安全・安心、地産地消、食育を含んだ「かしこい消費」に関する研修会等を開催した。 ①消費生活大学講座(1回) ②移動消費生活講座(随時) ③親子で学ぼう！エシカル商品探しゲーム(5回)
<b>Ⅳ－1 公正な立場での監視指導・検査の実施</b>		
【保健衛生課】	<b>《営業施設等に対する立入検査》</b>	「青森県食品衛生監視指導計画」に基づき計画的に県内の営業施設や給食施設に立ち入り、監視指導を実施(立入件数:5,539件)※令和5年11月末現在
	<b>《流通食品安全対策重点事業》</b> <b>《県産農畜産品の安全確保対策事業》</b>	流通食品のアレルギー物質・添加物・食中毒菌等の検査や県産農畜産品の残留農薬等の検査を実施(検体数:200検体)※令和5年11月末現在
	<b>《食中毒発生時の調査・対策及び発生防止に係る啓発を実施》</b>	食中毒発生時に、原因究明調査を実施し、被害拡大・再発防止の対策を行う。 また、発生防止のため、給食施設等の監視指導を実施(食中毒発生件数:4件)※令和5年11月末現在
	<b>《牛海綿状脳症対策事業》</b> と畜検査の実施。牛海綿状脳症(BSE)スクリーニング検査の実施	と畜場法に基づくと畜検査及びと畜される生後24ヶ月超の生体検査異常牛を対象としたBSEスクリーニング検査を実施 (と畜検査頭数:15,392頭) (BSE検査頭数:0頭) ※令和5年11月末現在
	<b>《HACCP普及・推進の実施》</b> 食品加工施設に対するHACCPに沿った衛生管理の導入支援	食品取扱い施設への立入時にHACCPに沿った衛生管理の導入を支援 (HACCP導入支援:5,539施設)

行動計画の項目 及び担当課	令和5年度取組実績	
	取組名	主な内容
【水産振興課】	《対EU輸出水産食品の取扱要領に基づく登録施設等の監視及び登録業務》	EU向け冷凍船及び生産漁船等の構造設備や衛生管理等を検査・確認 ①冷凍船(4隻) ②生産漁船(1隻) ③養殖場等(0件)
	《EU向け輸出ほたて安全対策事業》 ホタテガイをEUへ輸出するために必要な衛生要件等の確認	関係機関と連携し、モニタリング検査を実施 ①定期的サンプリング(0回) ②環境汚染物質モニタリング(1回) ③海域指定維持モニタリング(0回)
	《二枚貝生息環境プランクトン等調査事業》 青森県における貝毒の監視及び管理措置要綱に基づく貝類及び貝毒原因プランクトンのモニタリング調査業務	1 下痢性貝毒検査(75件) 2 麻痺性貝毒検査(25件) 3 プランクトン検査(50件)
<b>IV-2 消費者、民間団体、行政が協力して行う調査・指導の実施</b>		
【保健衛生課】	《食品衛生推進員制度運営事業》	食品衛生法に基づき県が委嘱した食品衛生推進員による営業施設に対する調査・指導等により自主衛生管理を推進(立入延べ施設数：900件)※令和5年9月末現在
【食の安全・安心推進課】	《適正な食品表示推進事業》 適正な食品表示の徹底を図るため、食品事業者に対する調査、指導を行う。	1 食品表示ウォッチャー(99名)による食品表示モニタリング 2 食品表示適正化指導チームによる不適正店舗に対する調査及び啓発指導
<b>IV-3 食品表示適正化の推進</b>		
【保健衛生課】	《営業施設等に対する立入検査》	「青森県食品衛生監視指導計画」に基づき計画的に県内の営業施設や給食施設に立ち入り、監視指導を実施(立入件数：5,539件)※令和5年11月末現在
【食の安全・安心推進課】	《適正な食品表示推進事業》 適正な食品表示の徹底を図るため、食品事業者に対する調査、指導を行う。	1 食品表示適正化指導チームの巡回指導等(276事業者)(令和5年9月末現在) 2 事業者を対象とした食品表示相談、啓発等(84件)(令和5年9月末現在) 3 食品表示110番の設置 4 疑義情報等の調査及びその結果に対する指導
【食の安全・安心推進課】	《米トレサビリティ法適正実施推進事業》 米穀事業者に対し、米トレサビリティ法に基づく米穀等の適正流通、適正表示の普及・指導を行う。	1 米トレサ巡回指導チームによる巡回(307事業者)(令和5年9月末現在) 2 米トレマスター養成研修会の実施(3回) 3 相談窓口の設置 4 疑義情報等の調査及びその結果に対する指導
【県民生活文化課】	《景品表示法に基づく適正表示の指導》 事前相談が寄せられた個々の事案への助言及び不当表示に対する指導を実施する。	事前相談が寄せられた個々の事案への助言及び不当表示に対する指導を随時実施

行動計画の項目 及び担当課	令和5年度取組実績	
	取組名	主な内容
<b>IV-4 食品の放射性物質に係る検査の実施</b>		
【保健衛生課】	《流通食品の放射性物質検査事業》	検査実績なし ※令和5年11月末現在
【食の安全・安心推進課】	《県産農林水産物放射性物質調査事業》 本県産農林水産物への信頼を維持・確保するため、放射性物質調査を実施し、その結果を分かりやすく公表する。	1 県産農林水産物の放射性物質モニタリング調査の実施(調査実績:42品目、620件) 2 専用ホームページによる調査結果の公表 3 県産農林水産物の加工品の検査に対する支援(検査件数:2件)
【林政課】	《あおもり産野生きのこ安全性実証事業》 野生きのこの出荷制限が指示されている4市町において、一般的に食されている4種の野生きのこを中心に検査を実施し、出荷制限解除に向けて取り組	野生きのこの採取及び調査分析等(348検体)
<b>IV-5 消費生活相談体制の充実</b>		
【県民生活文化課】	《青森県消費生活センターにおける消費生活相談の受付》 食に関する相談を含んだ住民からの消費生活相談に随時対応する。	食に関する内容を含んだ住民からの消費生活相談に随時対応
<b>V-1 緊急時に対応する体制の整備</b>		
【保健衛生課】	《食中毒等発生時の緊急連絡体制の整備》	食中毒・感染症発生時の県内関係機関の緊急連絡体制を整備
【食の安全・安心推進課】	《放射性物質が基準値を超過した時の緊急連絡体制の整備》 放射性物質が基準値を超過した時における県内関係機関の緊急連絡体制を整備する。	対応マニュアルに基づき、放射性物質が基準値を超過した時における県内関係機関の緊急連絡体制を整備
	《イノシシによる豚熱発生防止緊急対策事業》 本県における豚熱発生リスクを低減するため、イノシシの生息状況等を踏まえた効率的かつ効果的な捕獲技術の確立・普及に向けて取り組む。	1 捕獲技術実証及び実地研修 ①現地実証(県境3地域) ②実地研修(1回) 2 捕獲技術マニュアルの作成・普及
【畜産課】	《家畜伝染病危機管理体制の強化》 危機管理に係る組織力の強化のための防疫演習等の実施(高病原性鳥インフルエンザ等)	1 防疫体制の整備及び役割分担等の確認 ①庁内情報連絡会議(2回) ②庁内防疫机上演習(1回) ③防疫実動演習(1回) 2 防疫作業に係る実動演習の実施(全6地域)
【水産振興課】	《二枚貝生息環境プランクトン等調査事業》 基準値を超える貝毒発生時の出荷自主規制措置。	基準を超える毒値が確認された場合及び出荷自主規制措置解除要件を満たした場合に関係機関へ迅速に通知した。
<b>koeru</b>		
【食の安全・安心推進課】	《リスクコミュニケーションの実施》 消費者との食の安全・安心に関する意見交換や情報共有を図り、相互理解を深める。	出前トークを活用した、食の安全・安心に関するリスクコミュニケーションの実施(出前トーク:1回)
【保健衛生課】	《青森県食品衛生監視指導計画に関する意見募集》	「青森県食品衛生監視指導計画」を策定するために、食品関係56団体にに対し意見募集を実施(対象団体:56団体)